
 記 事

例会記録

日本医史学会 11 月例会

平成 30 年 11 月 24 日 (土)

順天堂大学 10 号館 1 階 105 カンファレンスルーム

1. 明治期の開業医・狩野謙吾の生涯
—— 臓器療法の発見者から神経衰弱の専門家へ ——
山田真由美
2. 映画『夜明け前』 呉秀三と無名の精神障害者の 100 年
(特別試写・解説 岡田靖雄)

 日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・
 日本歯科医史学会・日本看護歴史学会・洋学史学
 会 合同 12 月例会

平成 30 年 12 月 15 日 (土)

順天堂大学 10 号館 1 階 105 カンファレンスルーム

1. 緒方洪庵の薬箱研究を可能にした大阪大学所蔵ケン標本の意義
日本薬史学会：高橋京子
2. 鹿のプリオン病——慢性消耗病 (CWD)
日本獣医史学会：小野寺節
3. メガロドンの歯の化石に対する本草学者と蘭学者の考察比較
日本歯科医史学会：松山知明

4. アメリカ国立公文書館史料再考
—— 史料を活用したバイオエシックス教育の取り組み ——

日本看護歴史学会：丸山マサ美

5. 『解体新書』扉絵の書誌的研究
洋学史学会：安江明夫
6. 日本における屍体解剖の黎明期について
—— 社会文化史的な視点からの再検討 ——
日本医史学会：ヴォルフガング・ミヒェル

日本医史学会 1 月例会

平成 31 年 1 月 26 日 (土)

順天堂大学 センチュリータワー北 405

1. 富士川游学術奨励賞 受賞記念講演
19 世紀における西洋美術解剖学の歴史：
日本の美術解剖学の前史として
加藤公太
2. 国民優生法，優生保護法と精神科医
岡田靖雄

例会抄録

あの闘争とはなんだったのか

——ぼくの場合——

岡田 靖雄

かつての大学闘争の意義は、当時のその人の立ち場によっておおきくちがっている。1956 年医師免許取得。東京大学の精神科に入局したが、大学病院には臨床はないと 1958 年都立松沢病院にうつった。ひたすら患者をみながら、精神科医療

の改革にとりこんでいたが、しばらく外をみたいという気もわいた。1966 年に定年をむかえた秋元波留夫教授の後任にえらばれた臺弘さんは松沢の先輩であった。

臺教授から東京大学にくることを要請されたと